

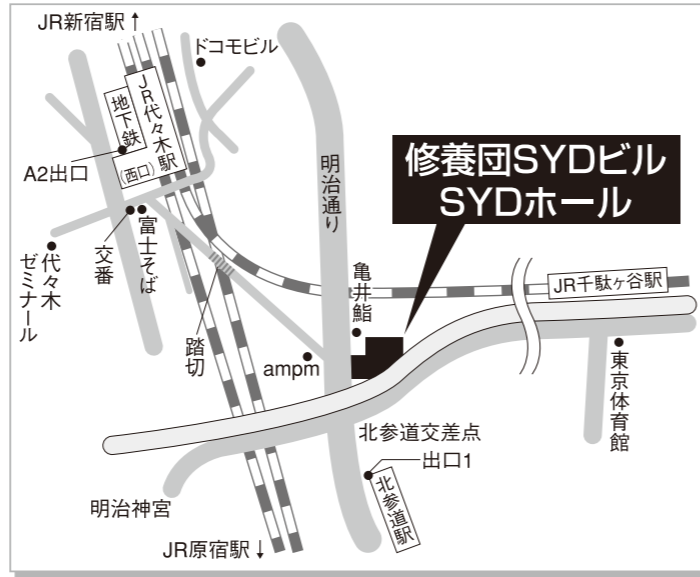
会場案内

会場 SYDビル SYDホール

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2
TEL 03-3405-5555

- JR山手線・総武線「代々木駅」西口より徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線「代々木駅」A2出口より徒歩6分
- 東京メトロ副都心線「北参道駅」出口1より徒歩3分
- JR総武線「千駄ヶ谷駅」より徒歩7分

※ホールには駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
車でお越しになる場合は首都高速高架下の時間貸有料駐車場(千駄ヶ谷パーキング)をご利用ください。



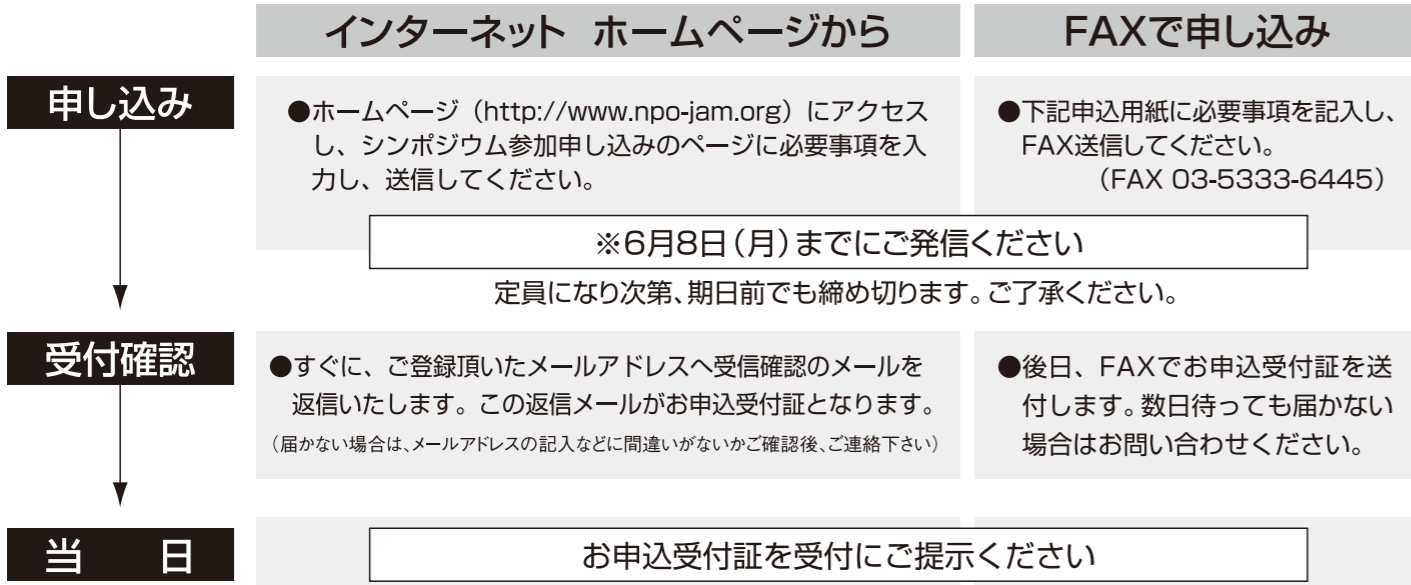
お問い合わせ・参加申込先

NPO法人 メンタルケア協議会 事務局

〒151-0053 渋谷区代々木1-57-4 ドルミ第2代々木 2F
TEL03-5333-6446 FAX03-5333-6445 net@npo-jam.org http://www.npo-jam.org

参加申込方法

事前登録 可能であればインターネットでお申し込み下さい。



当日受付 事前受付登録者が優先となります。
参加人数によって、ご入場・ご着席できない場合があります。ご了承ください。

FAX申し込み用紙 [FAX 03-5333-6445] ※申し込みはお一人様ずつお願いいたします。 FAX送信方向 ↑

ふりがな 氏名	勤務先名	
	職種	
住所 〒	TEL	
<input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 自宅	FAX	
	e-mail	
メンタルケア協議会 …… <input type="checkbox"/> 会員 ・ <input type="checkbox"/> 非会員	(シンポジウム参加費：会員無料/非会員2,000円)	
懇親会に参加 …… <input type="checkbox"/> する ・ <input type="checkbox"/> しない	懇親会参加費：会員・非会員とも2,000円	
メンタルケア協議会シンポジウムに参加するのは …… <input type="checkbox"/> 初めて ・ 回目		

精神障害者地域移行の先

地域移行先進国の欧米の実情、日本はこれからどうする

第1部 座長：羽藤 邦利
メンタルケア協議会理事長・代々木の森診療所理事長

国際比較と海外の問題

- 海外と日本の精神保健医療福祉の統計から
メンタルケア協議会理事長・代々木の森診療所理事長 羽藤 邦利
- “地域移行先進国”における転施設化 (transinstitutionalism) と新たな問題
医療法人社団爽風会理事長 佐々木 一

第2部

日本の問題

- 日本の居住型施設の可能性と困難
はらからの福祉社会理事・総合施設長 伊澤 雄一
- 日本型家族ケア、ひきこもりと精神障害
大正大学人間学部臨床心理学教授 近藤 直司

第3部

総合討論

- 日本の精神障害者の地域ケアはどこへ行くのか
全演者 府中市精神障害者を守る家族会(府中梅の木会) 野村 忠良
指定発言

NPOメンタルケア協議会 第16回シンポジウム

平成27年

6月14日 SUN

第14回定期総会…12:00~12:30

懇親会 ……17:45~19:30

シンポジウム 13:00~17:30

場所 **SYDホール** 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2

定員 250名 (車椅子席をご用意できます)

参加費 会 員：2,000円 (事前申込 1,000円)
非会員：4,000円 (事前申込 2,000円)

懇親会 無 料
非会員：3,000円 (事前申込 2,000円)

※参加申し込みと同時に入会された場合、会員料金となります

地域移行先進国の欧米の実情、日本はこれからどうする

精神障害者地域移行の先

“地域移行先進国”の欧米の実情は、これまで私たちが聞いてきた話とだいぶ違う。確かに精神科病床数は少ないが、精神障害者の居住施設が、英国やドイツでは人口1万当たり7ベッドある。ドイツでは、電車もバスも通わない山中にカギのかかる閉鎖施設がある。慢性統合失調症患者が100人以上収容されており、ここでほとんどの者が一生を終える…(佐々木一先生などの調査報告書より)。アメリカでは英国の約2倍、人口1万当たり14.1人の人がナーシングホームを利用している。統合失調症の人だけでなく、躁うつ病やうつ病の人、非精神病の人が大勢利用している(アメリカ疾病予防管理センターの資料など)。

日本では、今、地域に、「通所施設を長年利用してきたが、自立や就労は難しい」、「いわゆる“ひきこもり”を何年も続けている」、「家庭内暴力が繰り返され、本人も家族も疲弊している」、「入院してもすぐ退院になり、家族が支えるのは限界」、そんな人たちが膨大にいる。家族が支えられなくなったとき、誰が支えられるのか。

グループホーム・ケアホームの利用を希望する人が急増している。しかし、人口1万当たり1.5ベッドしかない。英国の4分の1以下だ。しかも、配置スタッフ数が少なく、スタッフの負担が大きい。“症状や障害が重めの人”の希望も多いが、対応したくても難しい現状がある。

「病院医療中心から地域生活中心」をスローガンにして10年。今なお、地域は、社会資源もマンパワーも貧弱なままだ。家族の高齢化、格差の拡大で、状況はむしろ悪化している。これからどうしたら良いのか、欧米の本当の実情も参考にして、侃々諤々、論じ合ってみよう。

Program

- 12:00～12:30 NPOメンタルケア協議会 第14回定期総会
- 13:00～17:30 **NPOメンタルケア協議会 第16回シンポジウム** 座長：羽藤 邦利
開会挨拶： 羽藤 邦利 メンタルケア協議会理事長・代々木の森診療所理事長
- 第1部 国際比較と海外の問題**
- 13:05～13:20 座長からの情報提供
海外と日本の精神保健医療福祉の統計から
- 13:20～14:20 “地域移行先進国”における転施設化(transinstitutionalism)と新たな問題
佐々木 一 医療法人社団爽風会理事長
- 《休憩10分間》
- 第2部 日本の問題**
- 14:30～15:10 日本の居住型施設の可能性と困難
伊澤 雄一 はらからの家福祉会理事・総合施設長
- 15:10～15:50 日本型家族ケア、ひきこもりと精神障害
近藤 直司 大正大学人間学部臨床心理学科教授
- 《休憩15分間》
- 第3部 総合討論**
- 16:05～17:25 日本の精神障害者の地域ケアはどこへ行くのか
全演者
指定発言 野村 忠良 府中市精神障害者を守る家族会(府中梅の木会)
- 17:25～ 閉会挨拶： 西村 隆夫 メンタルケア協議会前理事・にしむらクリニック院長
- 17:45～19:30 懇親会〔SYDホール ホワイエ〕

Profile

佐々木 一 ささき・はじめ(精神科医)

【現在】医療法人社団爽風会理事長・あしたの風クリニック院長・心の風クリニックリワークデイケア担当医。
【経歴】千葉大学医学部卒業。千葉大学医学部付属病院精神科神経科。国立精神神経センター国府台病院精神科。成田赤十字病院精神科勤務を経て、1996年メンガークリニックおよびトピカ精神分析研究所(アメリカ合衆国)研修生。2001年5月 爽風会佐々木病院院長(2013年3月開院)。【役職】労働衛生コンサルタント。千葉大学医学部臨床教授。【著書】『世界における精神科医療改革』 中山書店 2010【研究論文】『2007-9年度厚生労働科学研究補助金「精神医療の質の実態把握と最適化に関する総合研究」/分担研究報告書「精神医療の提供実態に関する国際比較研究」』、『精神科病院におけるリワーク活動の位置づけ』最新精神医学 16(2)155-161 2011、『ひきこもりを中心とした思春期精神疾患への早期支援・早期治療について』日精協誌 29(12)46-19 2010、『オーストラリアの精神医療改革の困難から学ぶこと』日精協誌 29(6)54-58 2010

伊澤 雄一 いざわ・ゆういち(はらからの家福祉会理事・総合施設長)

1981年4月1日はらからの家創設、現場主任、施設長・事務局長を歴任。1987年4月1日東京都精神障害者福祉ホーム連絡会(後年東京都精神障害者共同ホーム連絡会)結成、初代表に就任(1998年3月31日まで)。1998年10月26日漏電火災事故を経て社会福祉法人はらからの家福祉会創設、理事・総合施設長(現場職員代表)を兼務し現在に至る。1997年7月1日(NPO)全国精神障害者地域生活支援協議会結成、全国理事として就任。2006年7月14日定期総会において代表理事に選任・常任理事を兼務し現在に至る。

近藤 直司 こんどう・なおじ(精神科医)

【現在】大正大学人間学部臨床心理学科教授
【経歴】東海大学医学部医学科卒業後、東海大学医学部精神科学教室入局。神奈川県立精神医療センター芹香病院医員。東海大学医学部精神科学教室助手。山梨県立精神保健福祉センター所長(山梨県中央児童相談所副所長兼任)。山梨大学医学部臨床准教授。山梨県都留児童相談所所長。2012年東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科部長を経て2014年大正大学人間学部臨床心理学科教授。【学会】日本思春期青年期精神医学会運営委員。日本児童青年精神医学会元理事、評議員。日本精神分析学会認定精神療法医・認定スーパーバイザー。【著書】『アセスメント技術を深めるハンドブック—精神力動的な視点を実践に活かすために』明石書店、2014年。

羽藤 邦利 はとう・くにとし(精神科医)

【現在】メンタルケア協議会理事長/代々木の森診療所理事長。京都大学医学部卒。【経歴】東京大学付属病院、富士病院、東京都立松沢病院、法務省八王子医療刑務所を経て、1983年代々木の森診療所開設、現在理事長。その他、日本精神衛生会理事、日本精神神経学会理事、東京精神神経科診療所協会理事などを兼務。